

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、亀田図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：亀田図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキングを活かした課題解決型図書館	◆全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス関係の館内研修実施 ・レファレンス関係の研修会参加 ・レファレンス件数 6,519件 (うち所蔵調査 5,712件, 事項調査 807件) 【参考】 H29レファレンス件数 7,635件 (うち所蔵調査 7,061件, 事項調査 574件)	・館内研修(テーマ別調べ方案内の作成)を通じて職員の実務スキルアップを図るとともに、館外の研修へ積極的に参加し、能力向上に努めた。 ・レファレンス件数のうち、「所蔵調査」は、インターネットによる蔵書検索や予約が普及していること、館内案内図等の表示をわかりやすく工夫したこと等により減少したが、より専門的な事項調査は大きく増加し、図書館の役割や取り組みについて一定の理解と評価を得られた。	3 大変評価する。 57.1%	・職員への受付対応も感じ良く、研修の成果が出ている。レファレンスにもしっかり対応している。 ・館内、館外研修で職員の実務スキルアップを図り、能力向上に努め、利用者のニーズに応えていることは素晴らしい。 ・専門的な事項調査が大きく増加していて良い。所蔵調査の減少は工夫による成果である。 ・インターネットで自己完結する人が多くなってきており、ある程度の減少はやむを得ない。 ・問い合わせに対して、要望以上の資料を揃えてもらえることが多々あり、助かっている。
	◆館の重点評価項目 生活課題解決を支援する事業の実施と情報提供	・関係機関、団体等の協力を得ながら事業を実施するとともに、市や区の施策に関連した展示を行うなど、市民の生活課題の解決に向けた情報提供を行う。	・行政書士無料相談会参加者数及び関連資料展示参加者数 1人 ・市や区の施策に関連した企画展示の実績 9件 ・子育て支援コーナーの充実 727冊(H31.3月末時点)	・行政書士無料相談会では、遺言に関する相談があり、関連資料展示を合わせて実施し、市民の課題解決の一助となった。 ・市、区の施策と絡めて企画展示を実施することにより地域に身近な図書館としてPRを行うことができた。 ・子育て支援コーナーに、パパコーナーとブックスタートコーナーを新たに設け、パパの育児参加の関心を高め、小さいうちから本へ親しんでもらうきっかけとなるブックスタート事業をPRした。	3 大変評価する。 71.4%	・子育て支援コーナーに「パパコーナー」などを新たに設けて本への興味を引いている。 ・「行政書士相談会」という企画は、市民の課題解決に資する大変優れた企画だと思う。今後とも、課題解決に役立つ事業展開に期待する。 ・参加者は少なく残念だったが、行政書士と連携した企画、市・区の施策と絡めての企画展示は良い。 ・「パパコーナー」と「ブックスタートコーナー」を新たに設け、パパの育児参加や読書への関心を高めた。 ・地域に身近な図書館としてのPRや、ブックスタート事業PRを行って良い。
特色ある地域型図書館	◆全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・地域資料の収集、整理及び展示 ・地域資料の蔵書冊数 前年度比 300冊増 ・俳句資料の収集、整理 ・地域ゆかりの俳人、句碑の写真資料展示	・郷土や行政資料など、地域資料の収集を積極的におこない、蔵書増につなげた。 ・郷土関係の資料展示、地域ゆかりの俳人・句碑「江南区のいしぶみ散歩」の特別コレクション展示を実施し、地域の伝統文化の継承に取り組んだ。	3 大変評価する。 85.7%	・毎年継続して地域資料の収集に努めている。また、収集資料の展示にも工夫をしている。 ・郷土や行政資料など、蔵書増につなげたことは良い。 ・「江南区のいしぶみ散歩」は、郷土のゆかりの俳人、句碑に親しむ上でも良かった。 ・地域資料の収集を積極的に行っていて良い、今後も継続を。
	◆館の重点評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・江南区中学生俳句作品展の実施及び関連展示 ・来館者100万人達成記念セレモニー及び記念事業	・江南区中学生俳句作品展では、区内中学校6校のうち、5校から協力をいただき、83点の作品を展示、瑞々しく中学生らしい感性の作品が多数出品され、古くから江南区で盛んな俳句文化に親しんでもらうきっかけとなった。 ・平成24年に江南区文化会館へ移転してから、12月9日で来館者100万人を達成。江南区及び文化会館内の各所属と連携し、記念セレモニーを盛り上げ、亀田図書館をPRした。	3 大変評価する。 85.7%	・地域伝統文化の「俳句」の啓蒙に、中学生俳句展示を行っている。来館者100万人達成セレモニーを実施してPRした。 ・江南区中学生俳句作品展は毎年楽しみにしている。中学生らしい感性の作品が多く、素晴らしい企画だと思っている。 ・「来館者100万人達成記念セレモニー」は企画・PRとも良かった。 ・「来館者100万人達成記念セレモニー」の実施がよかった。 ・江南区の俳句文化は、他の地区にも手取られており、地元中学生に興味を持ってもらえるよう、これからは働きかけをしてほしい。
子ども・社会・読書活動型図書館	◆全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。 ・赤ちゃんタイムの利用を促進する。 ・うちどく(家読)を推進する。	・ブックスタート事業の実施 16回実施、506人参加(参加率96.6%) ・赤ちゃんタイムの実施 毎週火・水曜日 ・赤ちゃんタイムおはなしのじかんの実施 23回、357人参加(前年度比 28人増) ・うちどく読書ノートの配布 551冊	・ブックスタート事業を継続実施することで、乳児期の読書環境の大切さについて働きかけることができた。 ・赤ちゃんタイムおはなしのじかんを月2回実施し、乳幼児と保護者が絵本の読み聞かせやわらわらうたの楽しさに触れる機会を創出できた。 ・うちどく読書ノートを配布することにより、うちどく(家読)の推進をおこなった。	3 大変評価する。 85.7%	・「赤ちゃんタイム」の追加・拡大に努めている。 ・「ブックスタート」に沢山の方が参加してくれて、継続してきた成果が現れている。 ・「赤ちゃんタイム」おはなしのじかんを定期的に実施し、小さいうちから読書(読み聞かせ)に触れる機会をつくることができた。 ・「赤ちゃんタイム」の取り組みがよい。 ・「ブックスタート」の会場が一か所になった影響もあるが、ボランティア数が減少する中で、ボランティア頼みであるこの事業の継続が危惧される。
	◆館の重点評価項目 子どもの読書環境整備に向けた多様な取り組みの実施	・子ども対象の事業を行うほか、赤ちゃんタイムの実施、教育機関等への講師派遣、各種展示・広報等を通じて、総合的に子どもの読書環境を整備する。	・おはなしのじかんの実施(定例会)58回、802人参加 (スペシャル等)12回、153人参加 ・子ども対象事業の実施 この本だいすき! 体験しよう! 図書館のごと 外国語の絵本の読み聞かせ ・江南区読み聞かせボランティア交流会の開催 ・視察、施設見学、職場体験学習の受け入れ ・子育て支援(読書活動)への職員派遣	・おはなしのじかんを図書館職員と読み聞かせボランティアの協働で実施することにより、読書へ親しむ環境づくりに努めた。 ・子ども対象事業を積極的に実施し、様々な機会を捉えて多様なニーズを把握するとともに、図書館利用の促進を図った。 ・江南区独自の読み聞かせボランティアの交流会を通じて、ボランティア同士の情報交換を行うとともに、図書館職員との相互理解の深化と、より良い図書館への醸成を図った。 ・子育て支援施設等へ講師を派遣し、保育士等へ読み聞かせスキルを伝達・向上を図るとともに、親子の読書環境整備に寄与することができた。	3 大変評価する。 100%	・ボランティアと連絡を密にして効果的な運用に努めている。 ・図書館職員と読み聞かせボランティアの協働で、「おはなしのじかん」を実施し、読書に親しむ環境づくりに努めた。 ・「江南区読み聞かせボランティア交流会」を行ったのは良い。 ・保育士等に、読み聞かせのスキルアップを図る機会を作り、親子の読書環境整備を図ったのは良い。 ・読書へ親しむ環境づくりに努めていて良い。 ・「赤ちゃんタイムおはなしのじかん」は、毎回多数の参加があり、ボランティアとして楽しませてもらっている。参加者もスタンプが溜まり、記念写真を撮ってもらうのを楽しんでいるように思う。(全館共通のスタンプカードは難しい)
市民・ボランティアと協働型図書館	◆全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・施設見学の受け入れ 小学校1校 17人 ・職場体験の受け入れ 中学校4校 8人 ・ジョブトレの受け入れ 1団体 1人 ・配架、書架整理ボランティア活動受け入れ 166回、延べ209人	・施設見学に合わせて、絵本の読み聞かせを実施し、図書館の役割と読書活動への理解を深めた。 ・中学生の職場体験を通じて、図書館業務の楽しさや、業務範囲の広さ、奥深さを知ってもらうきっかけとなった。 ・ジョブトレの受け入れを通じて職業訓練活動へ寄与するとともに、ボランティアを積極的に受け入れ、市民との協働を推進した。	3 大変評価する。 71.4%	・小中学生の「職場体験」や「施設見学」を積極的に受け入れ、図書館業務の理解に努めている。 ・「施設見学」に合わせて、「絵本の読み聞かせ」をしたり、中学生の「職場体験」を受け入れたらして、図書館の業務や奥深さを知ってもらったのは良い。 ・「職場体験」や「ジョブトレ」の受け入れをしていて良い、今後も継続を。 ・協働で講座等をする場合の提出書面、手続きが難しく(特に広報記載のとき)なっていて苦慮する。
	◆館の重点評価項目 地元の産業界との協働事業の実施	・地元の商工会議所や商店会、農業関係者及び区の産業振興課との協働により事業を実施する。	・アスパークまつりへの参画 ・江南区文化会館3館(公民館、協働資料館、図書館)でスタンブレイ形式で事業を実施し、利用促進を図った。 ・「まちゼミかめだ」の各講座へ図書館資料の関連展示を行い、ブックリストを配布。講座受講者へ豊富な図書館資料のPRと、新たな利用者獲得のための活動を展開した。 ・読み聞かせボランティア団体を始め、地元や各種関連団体と積極的に連携し協働事業を実施した。	・アスパークまつりへの参画は、図書館利用の促進を図った。 ・江南区文化会館3館(公民館、協働資料館、図書館)でスタンブレイ形式で事業を実施し、利用促進を図った。 ・「まちゼミかめだ」の各講座へ図書館資料の関連展示を行い、ブックリストを配布。講座受講者へ豊富な図書館資料のPRと、新たな利用者獲得のための活動を展開した。 ・読み聞かせボランティア団体を始め、地元や各種関連団体と積極的に連携し協働事業を実施した。	3 大変評価する。 100%	・「まちゼミかめだ」など地元との協働事業に積極的に参画している。 ・「アスパークまつり」への参画は、図書館に足を運んでもらう上でも良かった。スタンブレイ形式も良かった。 ・「まちゼミかめだ」では、様々な職種や特技を持っている方がいることがわかり、地元を知る良い機会になっている。 ・「アスパークまつり」への参画が利用促進となり良い。 ・多岐にわたる協働事業は、少ない職員で大変と思われるが、亀田図書館ならではの事業もあるので続けてほしい。